

SUSTAINABLE★SELECTION 2020 選定一覧		
★★★★ (三ツ星)	IKEUCHI ORGANIC (イケウチオーガニック)	オーガニックコットン製品
	サラヤ	ヤシノミシリーズ
	みんな電力	顔の見える電力
	山陽製紙	PELPI(ヘルプ)
	ワイス・ワイス	フェアウッド100%の家具
★★★ (二ツ星)	アーバンリサーチ	commpost(コンポスト)
	アサヒビール	森のタンブラー
	ソーシャルアクションカンパニー	actcoin(アクトコイン)
	ペネッセコーポレーション	Kit Oisix withしまじろう
	LOOB JAPAN(ロオブジャパン)	LOOBのジュースパック製品
	山櫻	rikskog(リークスクーグ)
	ヤマチク	okaeri
★ (一ツ星)	IDEC(アイデック)	HWシリーズ パイロットライト
	家's(イエス)	yes
	イトーキ	地域材活用ソリューション Econifa(エコニファ)
	ウルシネクスト	nona チェア
	クリエティブ・シェルバ	漆のプラスチックフリーカード
	CRAZY KITCHEN (クレイジーキッチン)	江戸仕立て都うちわ千鳥型 (千鳥うちわ)
	Dari K(ダリケー)	サステナブルコレクション
	ティリスインターナショナル	プレミアムチョコレート
	DOYA(ドウヤ)	JACKS beauty line (ジャックス ビューティー ライン)
	ドッツジャパン	CLOUDY(クラウドィ)
	パン・アキモト	フーヒップ
	ボーダレス・ジャパン	救缶鳥プロジェクト
	ローカルフードサイクリング	ハチドリ電力
		LFCコンポスト

活性化を促進する。ESGを
経営理念に掲げる企業と自治
体や地域事業者を結び、地域
が抱える課題解決を目指す。

たど捉えています。未完成な
部分や行動力など課題を乗り
越える勇気を頂きました」と
コメントした。

とができるインパクト性、長
期的なスパンや実績をもつ、
もしくはこれからのサステナ
ビリティを担うという歴史
性・継続性、そして未来への
ビジョンをもつという将来性
の観点で優れていました。二
ツ星に選ばれた団体と営みに

は、それぞれがこれからの伸
び代を持っており、今後の発
展への期待を寄せています」
と激励した。

オルタナとCSR経営者
フォーラムは、年に4回サス
テナブル★セレクション「★」
の選考を行う。★に認定され

た製品／ブランドは、年に2
回行われる「★」の選考に
進むことができる。★の選
考会は、毎年3月と9月を予
定しており、第1期で★に認
定された製品／ブランドも★
★に応募できる。

42ページで「サステナブル
★セレクション★(一ツ星第
2期)の顔を紹介している。

◆
2021年1月1日〜2月
15日まで、「サステナブル★
セレクション第3期」★(一ツ
星)の募集を行います。「★」
に認定された製品／サービス
／ブランドは、2021年3
月発行予定の「オルタナ本誌
64号」に掲載します。「★」の
審査・誌面掲載の費用は掛か
りません。

その後、「★」の審査を経
て、2021年10月に開催予
定の「サステナブル★セレク
ション2021」★★★選
考委員会」で、今回と同様に
「最も優れた企業／団体」を
表彰します。



IKEUCHI ORGANIC サラヤ みんな電力 山陽製紙 ワイス・ワイス

5社に三ツ星



サステナブル★セレクション三ツ星選考委員会に参加した応募企業/NPOと選考委員、東京都立産業貿易センターで(東京・港) © Ben Yamaguchi

オルタナとCSR経営者フォーラムは10月16日、「サステナブル★セレクション2020期」★★★(三ツ星)「選考委員会を開催した。「サステナブル★セレクション」とは、エコ/エシカル/グリーン/サーキュラーエコノミーなど、サステナブルな手法で開発された製品/サービス/ブランドを選定して、紹介する仕組み。候補企業11社がプレゼンを行った結果、★★★には5社が選ばれた。

(オルタナ編集部・松田 ゆきの)

「サステナブル★セレクション」の「★(一ツ星)」「★★(二ツ星)」はオルタナ編集部が選定し、最高位の「★★★」は毎年10月に審査委員会を開き、厳正な審査のもとで決定する。第1期では14製品/ブランドが「★」「★★」に選定された。★★★から「★★★」への選定に挑んだ10企業と1団体は東京都立産業貿易センターでプレゼンテーションを行った。

「サステナブル★セレクション2020」★★★(三ツ星)「選考委員会の審査委員は、竹村眞一・京都芸術大学教授(審査委員長、森本英香・



サステナブル★セレクション三ツ星選考委員会の竹村眞一審査委員長 © Ben Yamaguchi

持続性推進機構理事長(元環境事務次官)、高野孝子・早稲田大学文化構想学部教授、山口真奈美・日本サステナブル・ラベル協会代表理事、徳江倫明・フードトラストプロジェクト理事長、森根「オルタナ」編集長の6人が務めた。

「★★★」に選ばれたのは、IKEUCHI ORGANIC(イケウチオーガニック)、サラヤ、みんな電力、山陽製紙、ワイス・ワイスの5団体だ。

イケウチオーガニックの「オーガニックコットン製品」は、赤ちゃんが舐めても安全なレベルの国際認証を取得し

ている。同社は電気を風力発電で調達するほか、循環可能な組織づくりに取り組む。

サラヤの「ヤシノミシリーズ」は、「ヤシノミ洗剤」を中心とした環境負荷が少ない植物流系洗剤で応募・受賞した。同社は、仕事と家庭の両立支援制度などサステナブルな組織作りにも取り組む。

山陽製紙は捨てられる前の紙より価値の高いものにアップサイクルする「PEFC(ペルプ)」で応募・受賞した。同社では全社員がエコ検定、CSR検定への合格を目指している。

みんな電力の「顔の見える電力」は、電源構成の再エネ比率は約8割と業界トップクラスを誇る。生産プロセスをブロックチェーンで管理し、生産者の思いやこだわりで商品やサービスを選べる仕組みに取り組む。

ワイス・ワイスの「フェアウッド100%の家具」は、地域木材を使い、地域林業の



「意識」だけではなく、「行動」に繋がる
mymizuチャレンジ

一緒にSDGs、取り組みませんか？



mymizu.co/challenge



SUSTAINABLE★SELECTION[★(一ツ星)第2期]

オルタナとCSR経営者フォーラムはこのほど、サステナブル★セレクション[★(一ツ星)第2期]の公募・選考を行い、4製品/サービスを「★」に認定しました。★の認定を受けた製品/サービスは、3月以降に開催する上期/下期審査会への参加を経て「★★」の認定

を受けることができます。★★は、選定基準に「企業としてサステナブル/エシカルな取り組みをしているか」が盛り込まれます。今後のサステナブル★セレクションの開催概要は右のQRコードからオンライン記事をご参照ください。



★
alterna
SUSTAINABLE
SELECTION
2021
ファイン
「FINEeco 41
竹の歯ブラシ」

体にも優しい 竹の歯ブラシ

三重県伊賀市で作られた竹由来の歯ブラシ。ヘッドや柄のサイズ感が日本人に馴染みやすい設計だ。柄には、ポリ乳酸樹脂と竹の微粉末をブレンドした天然由来の素材を使用。ブラシには自己摩耗性がある天然毛(豚毛)を採用し、歯のエナメル質や歯茎を傷付けず、歯間にもなじみやすい。長い期間が経つと生分解が進んで本体がもろくなるため、使用期限は2年間。



★
alterna
SUSTAINABLE
SELECTION
2021

東京チェンソーズ
「きこりのスロービー」

雇用と森を生む 木のおもちゃ

東京・檜原村で伐採・搬出した原木を村内で加工して作ったスロープのおもちゃ。枝や幹など建築材として流通しない部材を使い、立木1本当たりの価値を上げて、林業の再活性化や産業振興に貢献する。工房では地域の20-70代が製作に携わり、人口流出が進む村内で新たな雇用も生み出す。売り上げの一部は同社が管理するFSC認証を取得した山林の整備に充てている。



★
alterna
SUSTAINABLE
SELECTION
2021
デジタルグリッド

「デジタルグリッドプラットフォーム(DGP)」

民間電力取引 で再エネ普及

東大発の「DGP」は再エネ電源をはじめとした電源と電力需要をピアツーピア(P2P)で結び付ける、日本初の民間電気の取引所だ。限界費用ゼロの再エネを普及させ、電力料金を引き下げる。株主50数社の大企業需要家を結び、地方での再エネ発電で地域に産業と雇用創出にも取り組む。地域で電力の自給自足が可能となり、災害時の停電被害を減らすことにもつながる。



★
alterna
SUSTAINABLE
SELECTION
2021
はし藤本店
「日本の割箸シリーズ」

国産廃材の割箸で 地域共生目指す

国産材の建築余材として廃棄されてしまう端材や、健康な森を維持するために伐出した間伐材を活用して生まれた割箸。製造は各地域で社会福祉法人が運営する工場が担い、製造・販売を通じて社会福祉法人と連携しながら、地域共生社会を目指している。木材を伐出した地域、加工した工場など製品のトレーサビリティを消費者たちに開示して売られている。